

令和7年3月12日

保護者様

新居浜市立神郷小学校校長  
伊藤 英二

### 令和6年度神郷小学校の教育活動についての評価結果

弥生の候、皆様におかれましてはご健勝のことと存じます。さて、先日は学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。学校ではその結果を基に、本校教育の改善、充実に向けて協議を行いました。そのアンケート結果と考察内容をご報告いたします。

#### 本校の自己評価

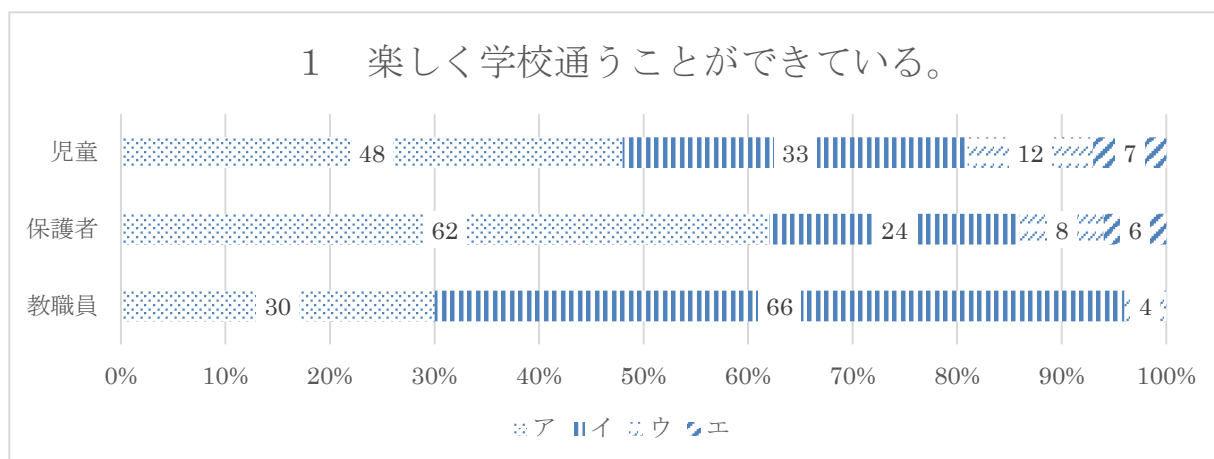
##### (1) アンケート結果と考察及び改善策等

今年度も、児童、保護者、教職員に対して、同じ観点の項目アンケートを実施しました。これは、学校（教職員）の取組が、児童や保護者にどのように受け止められているかを明確にすることで、本校の教育活動のより具体的な改善につなげるためです。また、教職員の意識改革を図ることにも役立てていきたいと考えています。全体的には、「できている・大体できている」という肯定的な評価を80%以上受けている項目が多く、本校の教育活動について一定の評価をいただいているものと考えられます。しかし、「あまりできていない・できていない」の割合が高い項目もあり課題となっています。これから、改善に向けての方策を打ち出し、一人一人を大切にしたい、きめ細かい学習指導や生徒指導の取組を教職員全員で継続していく必要があると考えています。

#### アンケート結果 回答項目

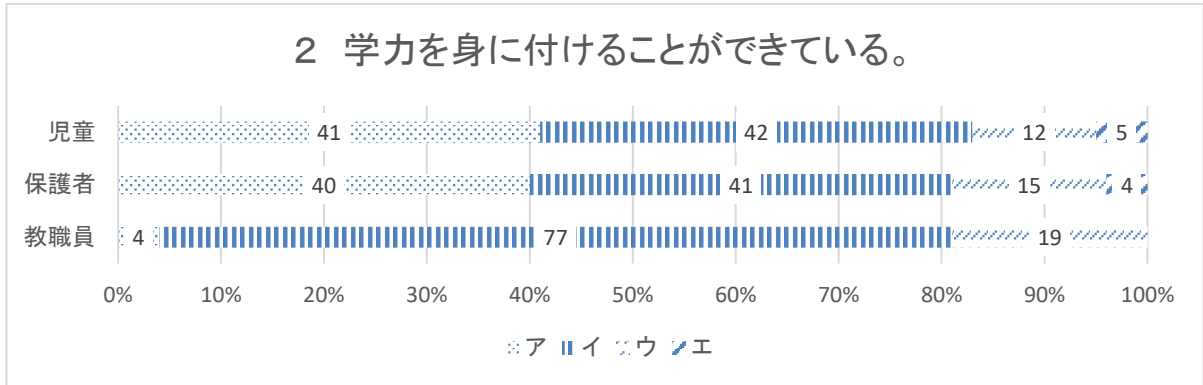
(ア：できている イ：大体できている ウ：あまりできていない エ：できていない)

#### 【1 学校生活について】



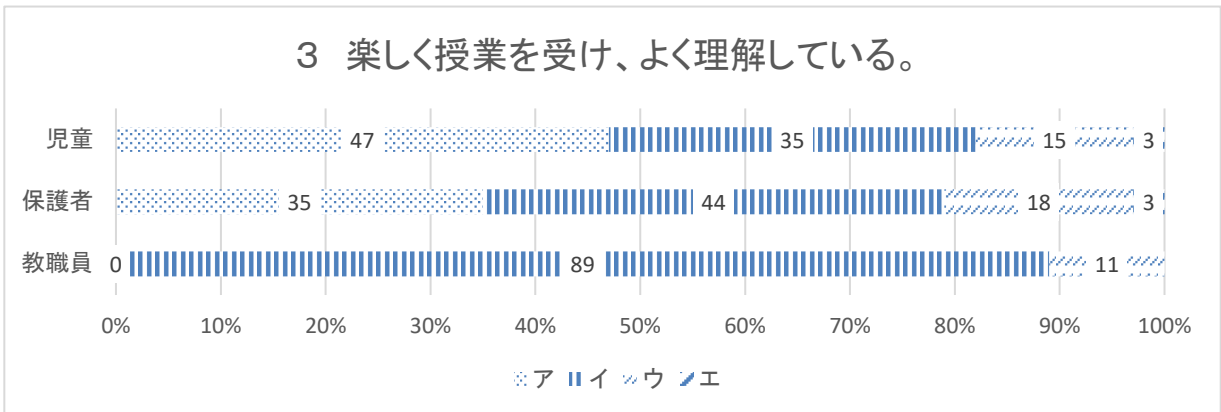
児童の約81%、保護者の約86%が、楽しい学校生活を送ることができていると答えています。これは、児童が、学校や学級で認められ、楽しく充実した学校生活を送ることができていると考えられます。しかし、学校が楽しいと感じていない児童が約20%います。過年度と比較するとほぼ同数となっています。児童が楽しいと思える体験活動や学習を増やしていけるように改善していきたいと思えます。また、全教職員が、今後も児童一人一人に目を向け、学校が楽しいと感じられるように個を大切にしたい、温かい関わりを持っていきたいと思えます。

## 【2 学力】



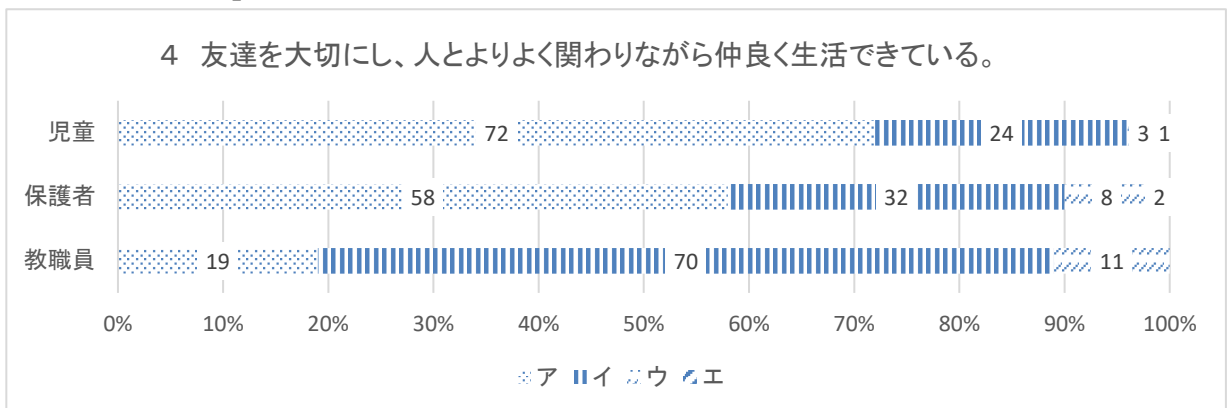
児童、保護者、教職員の約80%が学力を身に付けることができていると回答しており、一定の評価を得られていると感じています。しかし、20%の児童が学力を身に付けることができていると回答しており、これが楽しく学校に通えていない理由の一つとも考えられます。全ての児童が、基礎的・基本的な学力を身に付け、安心して学校生活を送ることができるように、教職員の指導力向上や授業内容の充実に努めていきたいと思ひます。

## 【3 授業改善】



学校では、児童主体のよく分かる授業を目指し、課題解決学習・ICT機器の活用・体験学習など授業改善に取り組んでおり、「学校の授業がよく分かる・大体分かる」という児童は約82%となっています。しかし、保護者の21%が「学力を十分に身に付けることができている」と答えています。本校では、重点目標の第一に学力保障を挙げ、様々な取組を行っています。児童の基礎学力の定着を図り、興味・関心を大切にしながら、児童の実態に合った授業や学習方法を研究し、学力向上に向けて努力していきたく思ひます。

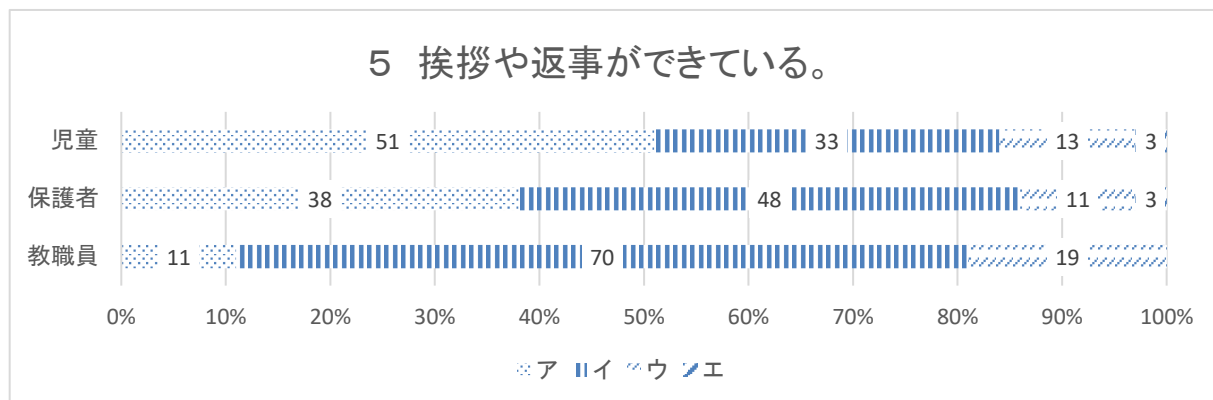
## 【4 人との関わり】



児童96%、保護者ともに90%が、友達を大切にし、人によりよく関わりながら生活できている

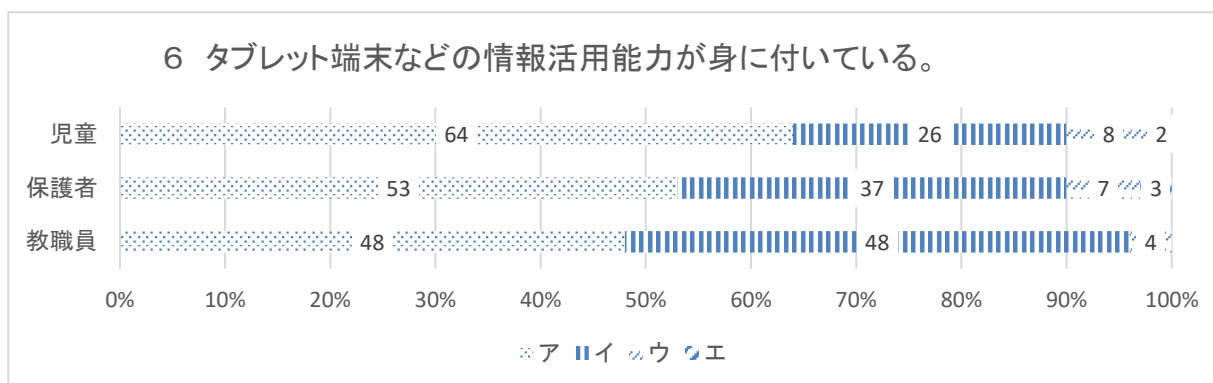
と感じています。学級活動や特別な教科道徳などで自分や周りの人を大切にしながら、みんなで議論し高めていこうとする取組やなかま委員会を中心としたなかま集会やよいところさがしの活動の成果が出ていると考えられます。これからも、学校で行う様々な活動の中で、相手を思いやる気持ちを大切にしながら集団づくりを進め、コミュニケーション能力を高めていきたいと思っています。

## 【5 挨拶・返事】



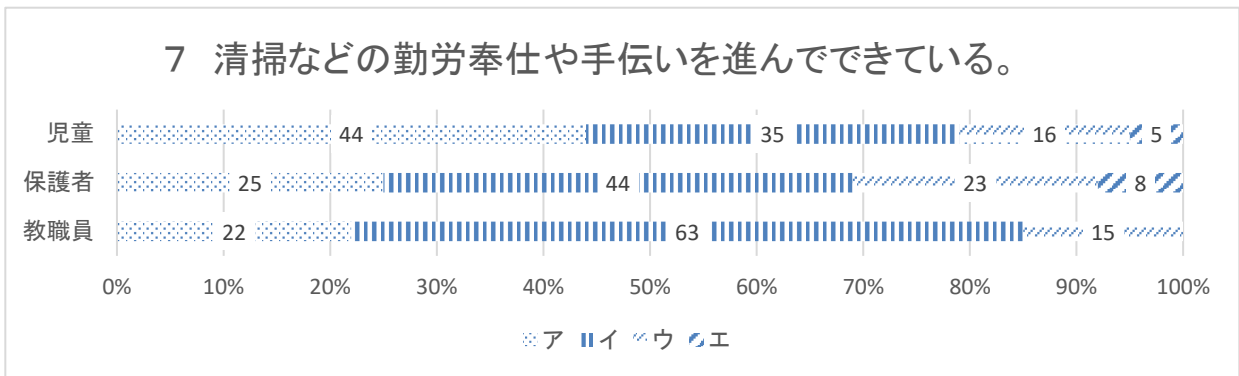
児童84%、保護者86%が、挨拶や返事についてできていると答えています。教職員は81%と児童、保護者より少し低く感じています。今年度も運営委員会の児童が郷レンジャーに扮して登校時に校門で「あいさつ運動」を行っています。児童の中にも、挨拶が人間関係づくりにおいて大切なものであるという意識ができつつあり、4月から比べると気持ちのよい挨拶のできる児童が増えてきています。しかし、地域や家庭において自信を持って進んで挨拶ができない児童も一定数います。挨拶が自信を持ってできるように声掛けを続けていきたいと思っています。また、挨拶は自分も相手も気持ちがよくなるということを伝えていき、挨拶日本一の学校を目指して今後も取組を継続していきたいと思っています。

## 【6 情報活用能力】



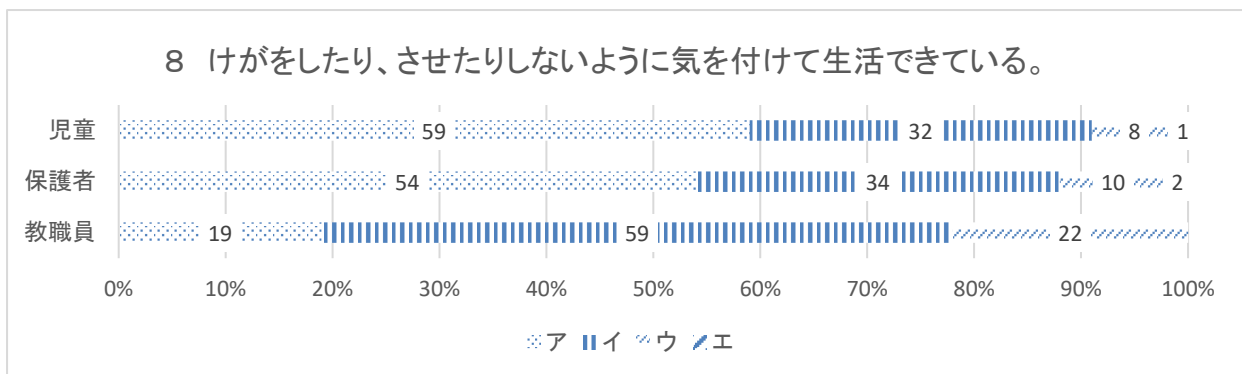
児童、保護者の約90%が活用できていると答え、教職員においても96%ができていると答えており、児童、保護者、教職員すべてが肯定的に捉えることができている。児童は、学校においてタブレット端末を一人一人が使用しながら学習することで、ICT機器を活用し、学習できていると感じているようです。情報活用能力は、学校としても、これからの社会において必須の力であると考えます。今後は、端末を操作したり、インターネットで検索したりするだけでなく、得られた情報を分析し、自分の考えをまとめ、表現できる力を伸ばしていけるように学習内容の充実を図っていきたいと考えます。これからも、ICT機器の活用を継続していき、情報活用能力を育成していきたいと思っています。

## 【7 勤労奉仕】



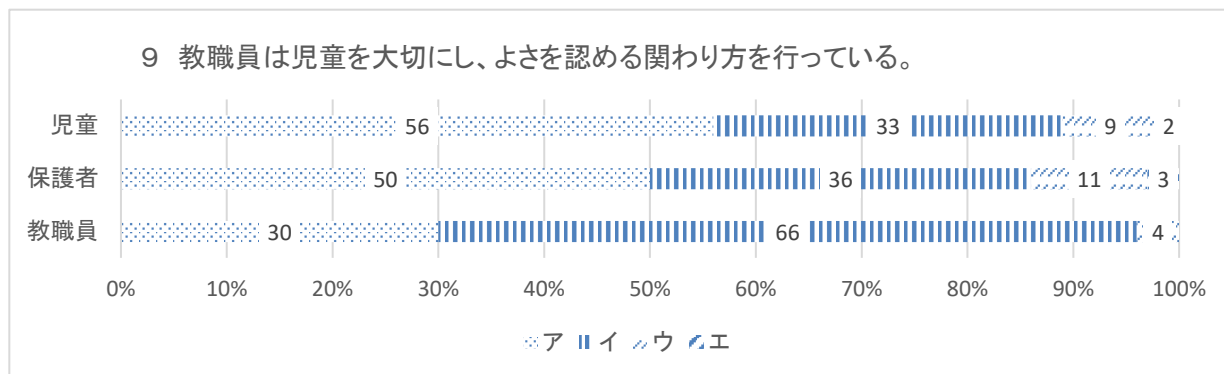
勤労奉仕については、保護者の69%が「清掃活動や勤労奉仕が進んでできている・できている」と答えています。これは昨年度と同様にアンケートの中で最も低い評価となっています。児童は、肯定的なものが79%で、教職員においては85%が肯定的に捉えられており保護者との意識の差が大きい項目となっています。これは、児童の普段の取組や頑張りを保護者に伝えられていないのではないかと考えます。学校では、毎日の清掃活動において黙働指導を行い、児童も頑張っています。また、学期に2回程度クリーン神郷の活動を行い、学校環境美化に取り組んでいます。今後、参観日に清掃活動の様子を見ていただける時間を設けるなど児童の様子を伝えていけるように計画していきたいと思います。今後も学校、家庭、地域でも勤労奉仕が行える機会を増やし、人のために働くことを喜びに感じる児童を育てていきたいと思っています。

## 【8 健康・安全】



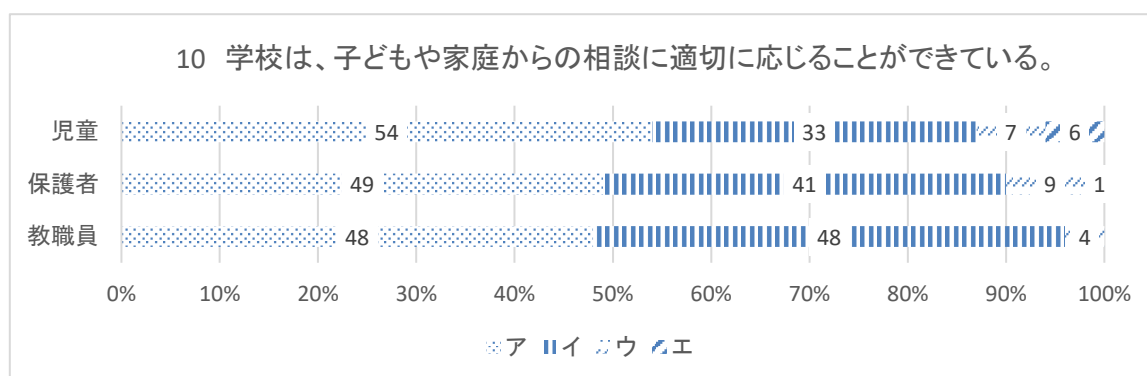
健康・安全に関しては、児童91%、保護者88%ができています・大体できていると感じており、命を大切にし、安全に行動できる児童が育っていると感じています。また、健康・安全に関しては、日頃より見守り活動等を行ってくださっている家庭や地域の方々のご協力によるものだと考えています。ですが本校周辺の幹線道路は、交通量や事故も多く、登下校中の交通安全において心配する面が多くあります。また、自転車乗車中のヘルメットの着用率も低いように感じます。学校でも、児童に「自分の命は自分で守る」という意識を高め、安全教育を進めていきたいと思っています。ご家庭でも児童の命を守るために交通ルールを守ることにしてお声掛けをお願いします。また、今後も家庭や地域の方々に協力をお願いします、児童の安全を守っていきたくて考えています。

## 【9 児童のよさ】



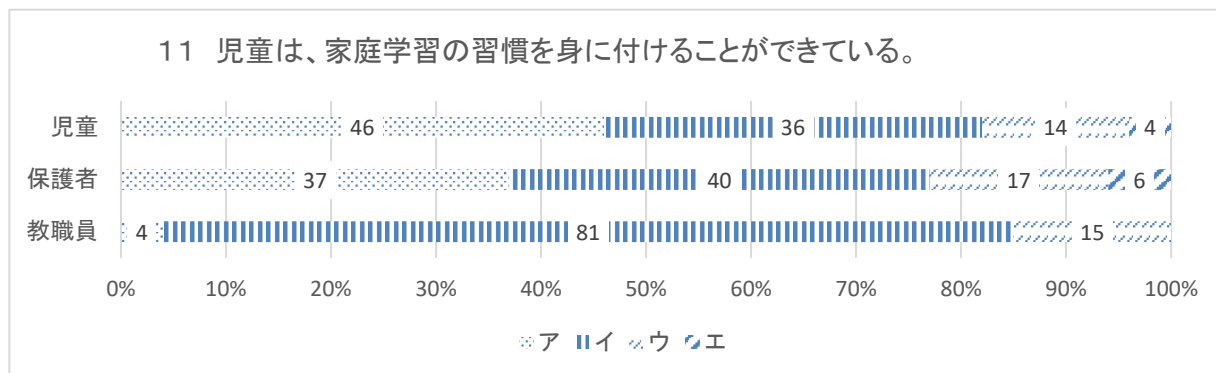
児童 89%、保護者 86%が教職員の関わり方について肯定的に捉えられており、一定の評価をしていただいていると感じています。しかし、約 10%の児童が認められていないと感じており、この結果を学校として重く受け止めていかなければならないと感じています。全教職員で、児童一人一人の成長に目を向け、頑張りを認めていけるようにしていきたいと思います。また、個別面談の機会を設け、悩みを聞き励ましの言葉を掛けていきたいと考えます。そして、今後も児童の自己肯定感を高めていけるように取組を進めていきたいと思います。

## 【10 教育相談】



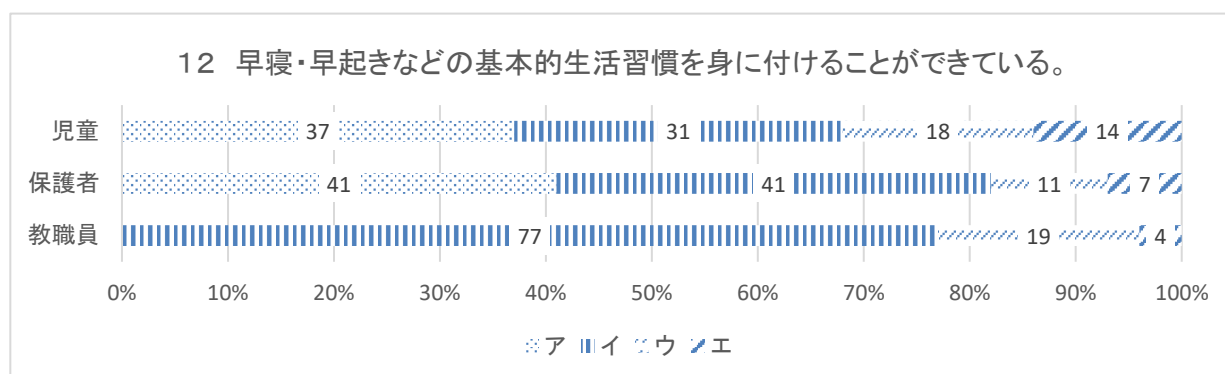
教職員の児童・保護者への関わり方については、児童 87%、保護者の 90%が肯定的に捉えられています。教職員も日々の児童の様子や日記指導などを通して、児童一人一人に大切にすることができているようです。学校では、月に一度「絆アンケート」を実施し、児童の困っていることや悩み事を聞き取り、いじめや悩みの早期発見、早期解決に努めています。また、月に1度、教育相談日を設け保護者の相談にも応じられるようにしています。さらに、ハートなんでも相談員が週に2回程度来校し、児童がいつでも相談できる体制を整えています。今後も児童や保護者の悩みに耳を傾け、全ての児童が安心して楽しく学校生活を送れるようにきめ細やかな対応を心掛けていきたいと思っています。

## 【11 家庭学習】



家庭学習の習慣化は、子どもにとって一生の宝になります。ですが児童の82%、保護者の77%が身に付いていると答えるに留まっています。昨年度と比較しても割合はほぼ同程度という結果でした。できていないと答えた保護者が20%を超えており問題であると感じます。家庭学習の習慣化においてはご家庭の協力が不可欠です。一緒に勉強に取り組み、学ぶ楽しさを伝えたり、目標を親子で共有し、小さな成功体験を積み重ねたりするなど、児童のやる気を引き出す声掛けや取組をお願いできたらと思います。また、保護者と教職員が協力して家庭学習の見取りを行い、児童に家庭学習の習慣を身に付けさせていきたいと考えます。ご協力をお願いします。

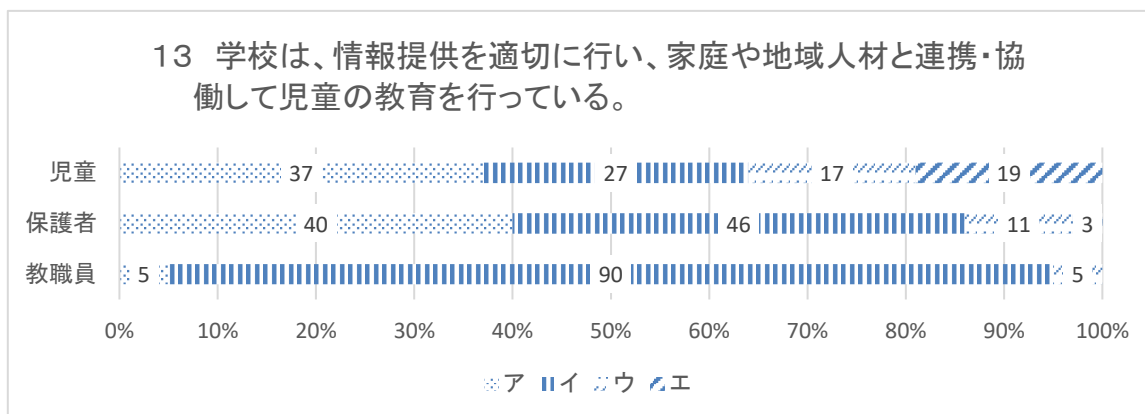
## 【12 基本的な生活習慣】



生活習慣については、児童32%、保護者18%が早寝、早起き等の基本的な生活習慣が身に付いていないと答えています。昨年度と比べると児童は10%増加しており、問題であると感じています。学校からの宿題、習い事、ゲームやスマートフォンなどを夜遅くまでしていることで、生活のリズムが崩れている児童も少なくないようです。さらに、タブレット端末の持ち帰り学習が始まり、使用のルールが守られていない現状もあると感じます。学校では、課題の量やタブレット端末の使用のルールを工夫していきたいと考えます。

基本的な生活習慣を整えることは、児童の健康や学習能力の向上につながります。児童がよりよい体調で学校生活を送ることができるよう、生活リズムを整える取組にご協力をお願いします。特に十分な睡眠時間の確保と毎朝決まった時間の起床がポイントです。寝る1時間前にはテレビやゲームを控える。規則的な食事時間を設ける。夜9時には就寝し、朝6時に起床する。など取り組めるものからご協力をよろしくをお願いします。

## 【13 情報提供・地域連携】



児童の64%が肯定的に捉えられています。昨年度の57%から7%ほど増加しており、一定の成果が上がったものと考えます。これは、地域の方々のご協力によるものと感謝申し上げます。しかし、まだまだ他の項目と比べ数値は低く今後も児童と地域の関わりを大切にしていける必要があると感じます。学校では、今年度も読み聞かせ、グリーンカーテンの苗植え、昔遊び、町探検、防災教育、しめ縄づくり、神郷公園の清掃活動を行うなど、地域の方々のご協力のもと地域とのつながりを大切に活動がたくさん行うことができました。今後も地域との関わりを密にし、連携を取りながら進めていきたいと思っております。

情報提供に関しては、学校から各種お便りやホームページ等で情報発信に努めていますが至らない点もあったと存じます。開かれた学校を目指し、今後も保護者・地域の方と児童の接する機会や会話のきっかけとなるような話題を提供していきたいと思っております。

## 【14 自由記述欄】

貴重なご意見が寄せられました。次年度の参考にさせていただき、努力してまいりたいと思っております。

### 保護者より

- 懇談会等で児童の悪いところしか伝えてくれないので、学校でどのような指導が行われているのか不安。
- 日頃より貴重なご意見をありがとうございます。保護者の方々との懇談会や連絡を通じて、よりよいコミュニケーションを図る努力をしておりますが、児童の良い面について十分にお伝えできていないとのご指摘を真摯に受け止めています。今後は、懇談会等において、児童一人一人の成長や努力を積極的に共有し、保護者の皆様が安心していただけるよう努めてまいります。
- インフルエンザで学級閉鎖になっているクラスがあるといった情報が、関係しているクラスだけにしかマチコミメールが届かないので、流行り始めていることなど、全体に向けても情報を発信してほしい。
- インフルエンザなどの流行状況について、関係クラス以外の保護者にも情報提供があった方がよいというご意見をありがとうございます。保護者の皆様が安心して学校生活を見守れるよう、全体的な流行状況に関する情報も発信する方法を検討してまいります。



- ホームページの学校日記の更新があまりないのがとても寂しいです。日頃の子供たちの様子が見たいので、毎日更新してほしいです。
- 今年はホームページのブログの更新が少なく、子供の学校での様子が分かりにくいのが残念です。
- 学校の様子をもっと知りたいというご意見をいただき、ありがとうございます。限られた時間の中での対応となりますが、できるだけ学校生活の様子をお伝えできるよう、更新頻度を見直していく努力をしております。
- 音楽会が2部に分けていたけど、完全入れ換えができていなかったもので、寒い中長時間、外で待たされていた保護者としては納得できない。呼びかけても居座り続ける人がたくさんいたし、兄弟がいる家庭で並び直す人もいたけど、それも大変そうだし、高学年の保護者でも低学年の演奏から観たいので、2部に分ける意味がないと思います。
- 音楽会の運営に関するご不便をお掛けした点につきまして、心よりお詫び申し上げます。いただいたご意見を基に、今後はよりスムーズで保護者の皆様にとって負担の少ない運営方法を検討しております。また、高学年と低学年の演奏を分ける意義についても再度検討し、保護者の皆様が安心して参加できる環境づくりに取り組んでまいります。
  
- 学校から持ち帰るタブレット端末でいつまでも遊んでいることがあるので、時間制限を設けるなど対策があると助かります。
- 家庭でのタブレット端末使用についてのご意見をありがとうございます。学校としてもICT機器の適切な利用を促進するため、使用ルールや時間制限の方法について改めて指導を行い、保護者の皆様と連携を図ってまいります。
  
- 禁止されているお祭り集会で太鼓台と登校している子供が今年もいました。子供が規則を守っていない事、親御さんも放置している事、先生方も注意しないことに疑問を抱いています。真面目に登校し、行事をこなそうとしている大勢の子供達がいる、それは当たり前です。大半の子ができていのに、なぜ守れないのでしょうか？
- お祭り集会に限って言える事ではありません。このような疑問をいろいろな場面で感じます。先生だけでなく、日頃の行動について、家庭で子どもたちに話をする機会をもうけてほしいと思います。今きちんと校則や、きまりを守る大切さを教えないと、大人になってからでは遅いと思います。
- 規則を守る大切さについてのご意見をありがとうございます。今年度もお祭り集会について、事前にプリントを配布し、保護者の皆様をお願いしているところです。また、今年度はお祭り集会実行委員会においても各地区の太鼓台の責任者の方々に説明もさせていただき、児童を乗せて入場しないと約束していただいております。さらに、当日も、各太鼓台責任者に声掛けも行い確認させていただきました。それにも関わらず、このようなことが起きてしまいました。ルールが守られない以上今後お祭り集会を継続していくかどうかとも検討していかなければならない事態となっております。
- 学校では、決まりを守ることができなかった児童に対し、きちんと指導を行い、保護者の方にもお伝えさせてもらっています。今後も、規則を守る意義やモラル教育の必要性を日々指導していきたいと思っています。さらに、より一層家庭との連携を強め、子どもたちとともに決まりについ



て考える機会を設けてまいります。

○ 今後担任や担当の先生が変わることがあるようなときは、簡単でよいので離れる先生から子どもたちに一言メッセージを送ってもらいたいです。具体的な理由の説明はなくてもいいけれど、一言でも、応援していますとか、そういう言葉があれば、子どもの戸惑いも軽減されると思います。

→ 担任の交代時に一言メッセージを、という温かいご提案ありがとうございます。お子様の気持ちに寄り添う取り組みとして、可能な限り実現できるよう検討してまいります。

○ 氏名を回答する必要があるのか？子供への不利益を心配し本音で回答できない人もいるのでは。回答が担当に開示される場合、腹を立て子供に不当な扱いをする教員はいないのか。上記を含め、アンケートの取り扱いを明記してほしい。

→ アンケートにおける氏名の記入は任意です。記名することで、個別の事案に迅速に対応することが可能になりますが、記名をしない場合でもアンケート内容は真摯に受け止め、対応いたします。いただいた情報は、厳重に管理され、管理職のみが確認いたします。教職員個々への直接の開示は行いませんので、ご安心ください。ご指摘の「アンケート回答による子供への不当な扱い」の懸念については、教育現場において決してあってはならないことであり、私どもも最も重視しております。本校では、教職員が不当な対応を行わないよう研修や倫理指導を徹底して行っております。加えて、管理職が巡回や面談を通して教職員の適切な対応状況を確認する体制を整えています。

○ 習い事などがある日に宿題が多いと途中で寝てしまい。次の日の朝早く起きてする事があります。家庭で予習復習をする時間がなかなか取れません。

○ 比較は出来ませんが、平日の宿題が多いように感じます。個人差はあると思いますが、宿題によって現に寝不足になる日も目立ってきました。せめて、音読は毎日ではなくても良いのではと思います。

→ 宿題の量が多いと感じるというご意見をありがとうございます。お子様一人一人の負担にならないよう、宿題の量や内容の見直しを検討し、学習効果を最大限に高める方法を模索してまいります。

○ 勉強に力を入れるから学級通信等はやらないと言っていたが、勉強や学校が嫌になるようなやり方をしている。不登校になれば本末転倒。学級通信は学校と子供たちと親をつなぐ一つのツールである。

→ 学級通信について、学校と保護者をつなぐ重要な役割を果たすというご意見をありがとうございます。学級通信をはじめとする情報共有の方法について、より充実した形で対応できるよう努めてまいります。

保護者の皆様からいただく貴重なご意見は、私たちの教育活動の大切な指針となります。今後とも、よりよい学校生活を目指して努力してまいりますので、引き続きご支援をよろしくお願い申し上げます。

## 学校関係者評価委員より

- 地域とのつながりに今年度から地域との交流会の年間の予定が学校から出されていたため、計画を立てやすく、連携がスムーズに行えた。来年度もお願いしたい。
- 3月に教職員の異動がある。地域と一緒にを行う行事の内容等についてきちんと引き継ぎがされておらず、何も分からないということがある。どの教員が担当になってもいいように引き継ぎをきちんと行ってほしい。
- アンケート結果から児童の勤労奉仕の意識が低い。保護者の中には共働き世帯が多く忙しいのは分かるが、家庭で手伝いをさせたり、一緒に地域ボランティアに参加したりするなどしてほしい。
- 他の学校の取組ではあるが、授業開始のチャイムの前にBGMを流している。そうすることによってチャイムの合図で静かに授業を始められているそうです。神郷でも落ち着いて授業に臨めるように工夫に取り組んでほしい。
- 幼稚園の前を登校してくる児童の挨拶がすばらしい。いつも大きな声で気持ちの良い挨拶をしてきている。学校の取組がいろいろな場面で生かされているので、今後も継続して行ってほしい。
- 保護者の地域行事や奉仕作業の参加率が低い。子どもたちだけでなく、保護者に対しての啓発活動をお願いしたい。また、保護者、子どもと一緒にボランティア活動を行えるようなイベントを開催し、意識向上を目指してほしい。
- 学校が楽しくないと感じている子どもが一定数いる。不登校傾向の子どもも増えてきているようなので、地域を活用しながら対策をお願いしたい。

寄せられたご意見を参考にし、PTA や地域と連携・相談しながら、子どもたちがよりよい学校生活を送れるように努力と改善を重ねていきたいと思えます。